

土木学会

選定映画報告

(8)

視聴覚教育委員会

1. 第13回選定映画審査会報告

日時：昭和46年10月9日(土)14.00~18.00

上映本数：5本

審査の結果次の3編が選定された。

2. 選定作品

松原・下笠ダム建設記録(総集編)

(カラー・16mm・スタンダード・42分)

企画：建設省九州地建松原下笠ダム工事事務所

製作：(株)松崎プロダクション

製作意図

「蜂の巣城の戦い」として異名をばせた九州の松原・下笠ダムの建設記録を13年間の単なるダム建設記録としてではなく、建設主体の尊法と忍従の記録として描くものである。

内容梗概

昭和28年6月の九州の集中豪雨は、ここ筑後川において大洪水を起し、流域住民に田畑や人命上の大損害を与えた。この反省の中から昭和32年松原下笠ダム建設の政府決定をみる。だが、開始されたダム建設の前に「墳墓の地を守れ」という願いから出発した水没部落農民の執拗な反対運動が立ち上がる。「蜂の巣城の攻防」である。調査、代執行、訴訟が続く。建設技術の問題に加算される法的社会的重圧。それをはねのけながら建設が続く。反対運動のリーダー室原氏の死と和解成立。そして昭和45年に待望の両ダムの完成をみるのである。

大水害を契期として計画された筑後川上流部の松原・下笠ダム建設事業に対して、当該地区住民の強い反対運動があったが、この映画は、ダム建設という公共土木事業を、地域住民との関連においてとらえ、そのかわりあいを長期間にわたって記録した特異な作品となっている。しかし、反対運動や、それを排除して実施される建設事業の理論的、法律的背景がそれほど明瞭に表現されていないので物足りないとの意見も聞かれた。公共土木事業の側面の記録映画として観賞をすすめた。

一般PR用・教育用

海底トンネル——洞海湾の沈埋工法——

(カラー・16mm・スタンダード・29分)

企画：三井建設(株)

製作：(株)三井プロダクション

製作意図

「コンクリート沈埋工法」の本邦第1号工事である「洞海湾海底トンネル」工事の全容を紹介し、社員教育および一般への工事PR用として製作した。

内容梗概

北九州市の洞海湾口付近で施工中の「沈埋トンネル」建設の実際と工法の解説をしたものである。

「洞海湾海底トンネル」は、若松区響灘に建設中の三井鉱山コークス(株)のコークスと新日鉄(株)のペレットを、対岸戸畑区の新日鉄戸畑製鉄所へ送るベルトコンベア敷設用の海底横断産業トンネルで、全長1480m、長さ80m、重さ3000tの鉄骨鉄筋コンクリート製沈埋函18本を乾ドックで製作し、海上を曳船の後「自揚式海上作業台」を用いて海底に沈め、これをつないでトンネルを完成させるもので、映画は工法の解説を加えつつ、工事の順を追ってその全容を紹介する。

この沈埋函工事において、特別に設計製作された自揚式海上作業台が活躍する。作業台の海底への固定、作業台による敷設基礎の形成、バラストを使用しての沈設作業がうまく記録されている。水中部分の撮影はないが、模型と線画によってわかりやすく説明されている。

世界に誇る第三人工島

(カラー・16mm・スタンダード・24分)

企画：三井建設(株)

製作：藤吉プロ

製作意図

海底炭坑採掘に不可欠の「入気口」開削基地として福岡県有明海に築造した「人工島」建設の記録であり、これを教育用ならびに一般への工事PRのため製作した。

内容梗概

日本一の大炭鉱三井三池鉱の海底炭採掘にあたり不可欠の「入気口」開削基地として、有明海の沖合6kmの地点に築造した第三人工島(三池島)の建設記録映画。人工島建設地点は、日本有数の潮流の早い有明海の真中で干潮時でも4.5m、満潮時には10mの水深を持つ上、海底は14m付近までヘドロ層という困難な立地条件であるが、多年の調査、研究の結果、海底地盤を改良し、その上に「半重力式鉄骨フレーム」を島の外殻として据え付けて築島するという世界でも例の少ない画期的工法がとられた。着工以来15か月、きびしい自然条件と戦いつつ行なわれた人間の英知と努力が結晶して新しい大地の誕生を見た。これはその戦いの記録である。

直径約90mの円型の人工島が、困難な条件のもとに建設されていく過程を記録したものである。

海底のヘドロ層を砂と置換する基礎地盤改良、島外殻

の骨組となる鋼製フレームの大型クレーン船による組立作業、鋼杭による海底への固定、鋼矢板による最外殻の形成、そして中理工程における地盤沈下への対処など工事の概要が簡潔に記録され非常にわかりやすかった。

追記 今回の審査会において、選定された上記3編の他に、荒れ川として有名な常願寺川の砂防を扱った「常願寺川水系」が上映され好評を得たが、もうすこし簡潔にとの意見が聞かれた。

以上の映画を利用されたい方は下記へお問合せ下さい。

松原・下笠ダム建設記録(総集編):

建・九州地建松原下笠ダム工事事務所(大分県日田郡大山町大字西大山 097352 31,38)

(株)松崎プロダクション(東京都港区南青山5の9の15 共同ビル 03(409)7381)

海底トンネル, 第三人工島:

三井建設(株)広報課(東京都中央区日本橋室町2の1の1 03(270)8651)

「土木学会選定映画」応募作品募集について

土木学会では、土木工学に関する広い知識を効率よく教育または一般にPRするため、関係官公庁、地方公共団体、業界等で数多く作られている土木工学に関する映画が有効かつ適切に利用されるよう「土木学会選定映画」制度を設けておりますので、奮って御応募下さいませようお願い申し上げます。

応募方法は特にむずかしい規程はございません。広い意味での土木工学に関する映画を企画または製作された所であればどなたでも応募できます。

応募ご希望の方は下記宛申込書をご請求下さい。折返し申込用紙をお送り致します。

記

申込書請求先: 〒160 東京都新宿区四谷一丁目 TEL 03(351)5130

社団法人 土木学会 視聴覚教育委員会 宛

すぐに役立つ測量

現場監督者のための土木施工 <全10巻>・第3巻

丸安隆和・中川徳郎共著 A5判・290頁 ——— ¥1,500

工事のための手段として行なわれる測量について、特に現場で作業する人に役立つよう、新技術を紹介。

現場設計の要点

現場監督者のための土木施工 <全10巻>・第1巻

細矢一男著 設計例・図版多数 A5判・280頁 ¥1,400

現場技術者と設計との結びつきから土の特性につきのべ、実際の設計例を示して具体的に説明している。

トンネル工学—理論・設計・施工—

K. チェッキー著/島田隆夫訳(国鉄下関工事局長)

B5判・680頁 ¥5,900

トンネルのすべて—地質・測量・トンネル地圧・設計・施工・トンネルの保守・改築など—について理論と実際の両面から詳述された待望の書。

土圧を受ける構造物設計の要点と計算例

建設省・川崎迪一・岩松幸雄共著-A5判・260頁 ¥2,000

土圧を受ける構造物としての各種擁壁、門形ラーメン、ボックスカルバート、パイプカルバートなどを単に設計計算に役立つだけでなく、工事施工上のチェックポイントとして、詳細に判りやすく解説。

地すべりとその対策

Q. ザルバ, Y. メンクル共著/松尾新一郎訳

図版・写真多数 A5判・250頁 ¥1,700

地すべりの土質・岩盤力学的発生要因、地質学的分類・調査・解説、対策工法に至るまでを一貫して解説

土地問題講座・全5巻

編集代表=日本不動産研 理事長・櫛田光男

- ⑤都市開発と土地問題 ¥1,600
- ③土地法制と土地税制 ¥1,600
- ②土地経済と不動産鑑定評価 ¥1,800

明日を築く
知性と技術

鹿島出版会

107 東京都港区赤坂6-5-13 電話 582-2251 振替東京180883